

●平成26年度予算要望書の提出にあたって

昨年末の政権交代以降、各種経済指標は上向きの傾向を示し、デフレ脱却の兆しが見え始めたと言われるものの、現実の市民生活はまだまだ景気回復の実感を伴ったものとはなっていません。

市議会公明党は、そのような市民の皆さんの小さな声に耳を傾け、現実の生活と日々格闘している方々の実感を受け止める努力を重ねて来ました。

その小さな声の数々を精査し、会派として徹底した議論を通し集約した項目を、今年も予算編成時期に合わせ、6つの政策分野96項目にまとめ「平成26年度予算要望書」として提出させていただきます。

依然として油断のできない財政運営が続きますが、市当局におかれましては、市民の福祉を守り、市民の暮らしに寄り添う、市民の幸福感を増進させる予算となりますよう、ご検討をお願いいたします。

●財政、行政サービス政策（企画政策部・総務部・財務部）

- 1 ○住民票、印鑑証明書、戸籍抄本等のコンビニエンスストアでの交付拡充。
- 2 ○外部監査の実施。
- 3 ○アセットマネジメントによる公共施設・公有財産の再配置計画、有効利用計画、実施計画の策定と統括部署の設置。
- 4 ○財政の見える化のための新公会計制度（東京都方式）の検討と研修会の実施。
- 5 ○近隣市との連携、広域化による市民サービス向上のための計画と推進。
- 6 ○民間のノウハウを取り入れた、効率的な公用車シェアリングの実施。
- 7 ○健康まちづくり施策として、自転車を活用したライドアンドパーク環境の整備。
- 8 ○福祉会館、ルネこだいら等へのプロジェクター設置、各種音響・再生設備の充実。

●防災・防犯政策（市民生活部）

- 9 ○業務継続計画の震災編・新型インフルエンザ編の改訂と情報システム編の策定。
- 10 ○学校別避難所運営マニュアル、震災復興マニュアルの策定。
- 11 ○マニュアルに基づいた実効性のある防災訓練の実施。
- 12 ○避難所へのマンホールトイレ、貯留式トイレ等の設置拡充。
- 13 ○市内公共施設への非常用発電設備の設置拡充。
- 14 ○自治会以外にも広げた、災害時要援護者を支えるしくみの構築。
- 15 ○（仮）小平市安全安心条例の制定。
- 16 ○自動音声応答サービスのフリーダイヤル化とファックスサービスの実施。
- 17 ○公共施設、学校施設の非構造部材の耐震対策の強化。
- 18 ○家具転倒防止器具の配布。
- 19 ○自治会への消火器設置補助の拡充。
- 20 ○スタンドパイプの市内配備。

- 21 ○避難所の標示看板と誘導看板の整備拡充。
- 22 ○避難所の備蓄体制の再検討と食料などの備蓄品の拡充。
- 23 ○高齢者、障がい者の災害対策として、防災ラジオ購入補助事業の実施。

●子育て支援、女性政策（次世代育成部・健康福祉部）

- 24 ○待機児童の解消に向け、適正な認可保育園の設置推進。
- 25 ○共同実施型保育室、定期利用保育所の導入。
- 26 ○0、1、2歳児対策として、認定こども園や認定家庭福祉員の積極的増設。
- 27 ○認定家庭福祉員を支える連携保育所等の公立保育園での早期実施。
- 28 ○病児・病後児保育の実施場所のさらなる拡充。
- 29 ○公立保育園における延長保育、休日・夜間保育の実施。
- 30 ○子育てニーズと保育サービスをマッチングさせる保育コンシェルジュの導入。
- 31 ○ミストシャワーの全保育園への設置。
- 32 ○保育士資格者の現場復帰に向けた研修や実習等の市独自の支援策の実施。
- 33 ○保護者支援も含めたブックスタートの実施。
- 34 ○ワンストップで多様な女性の相談を受ける、女性センター機能の整備。
- 35 ○個人指定も含め、女性の登用、活躍の場を増やすための指針の策定。
- 36 ○市内事業者が育児休暇や介護休暇取得等の相談ができる窓口の設置。
- 37 ○ニート、ひきこもりに寄り添った、若者施策の推進。

●健康、高齢者、障害者政策（健康福祉部）

- 38 ○医療費適正化のためのレセプトデータ分析を活用した重症化予防対策の推進。
- 39 ○ジェネリック医薬品のさらなる利用の啓発。
- 40 ○胃がん対策として、健康診査へのピロリ菌検査導入。
- 41 ○乳がん・子宮がん検診クーポン配布の継続実施。
- 42 ○がん検診の丁寧な個別勧奨の実施。
- 43 ○子宮頸がん検診へのHPV検診の導入。
- 44 ○一般不妊治療への治療費助成の実施。
- 45 ○人間ドックへの補助拡充と、脳ドックへの補助の実施。
- 46 ○健康診査の受診率向上へ、個別勧奨の実施。
- 47 ○健康診査の受診や健康づくり活動への参加を促す「健康マイレージ」の導入。
- 48 ○健康福祉事務センターに案内係の配置。
- 49 ○24時間年中無休で介護、育児、メンタルヘルス等にも対応する健康電話相談の設置。
- 50 ○ひきこもり当事者（本人・家族）を支援する、保健師などの巡回訪問の実施。
- 51 ○早期発見、早期療育のための5歳児健診の実施。
- 52 ○障がい児の放課後等デイサービスの拡充と送迎体制の確保。
- 53 ○生活保護受給者への就労につながる支援体制の構築と自立支援員の充実。

- 54 ○緊急通報システムの希望する高齢者への対象拡充。
- 55 ○介護予防見守りボランティア事業へのボランティアポイントの導入。
- 56 ○認知症の早期発見・早期受診のため、医療専門職等による訪問支援の実施。
- 57 ○地域包括ケアシステム充実のための在宅医療の支援体制づくりの推進。
- 58 ○空き店舗を活用したコミュニティサロン等、高齢者の居場所づくりの推進。
- 59 ○小児専門医との連携による、発達障がい児・傾向児の早期発見、早期支援に繋げる発達支援センターの設立。

●教育、環境政策（教育部・環境部）

- 60 ○（仮）小平市いじめ防止対策基本方針の早期策定。
- 61 ○いじめ防止のための小・中連携による情報共有の推進。
- 62 ○迅速に対応し、学校と共に課題解決に当たる学校緊急対応チームの設置。
- 63 ○特別支援教育支援員の小・中学校への早期配置。
- 64 ○ティーチング・アシスタントの必要に応じた配置。
- 65 ○スクールソーシャルワーカーの全小・中学校への配置と不登校等の対策強化。
- 66 ○学校での食物アレルギー事故を未然に防ぐ具体的な対策の推進。
- 67 ○学力の向上に寄与する、放課後の児童・生徒の学習支援の実施。
- 68 ○情報を学校の保護者の携帯電話に配信する（仮）小平安心メールの導入。
- 69 ○ミストシャワーの全小・中学校への設置。
- 70 ○住民の意見を反映した小川西グラウンドの土埃対策。
- 71 ○市民総合体育館の設備内容の検討。
- 72 ○萩山公園グラウンドなど体育施設のトイレの改善とバリアフリー化。
- 73 ○太陽光発電設備を民間施設に設置するための奨励制度の創設。
- 74 ○太陽光発電設備に対する助成対象世帯の拡充。
- 75 ○公共施設への太陽光発電設備設置の積極的推進。
- 76 ○商店街や自治会の街路灯のLEDなど高効率照明化の推進。
- 77 ○食品ロスをなくす小平ルール確立のための検討委員会の設置。
- 78 ○玉川上水周辺の緑地保全の強化。
- 79 ○路上での煙草のポイ捨てを禁止する（仮）小平市環境美化条例の制定。
- 80 ○回収ボックス設置による小型家電等の回収資源化の積極的推進。

●まちづくり、地域問題、産業活性化・農業政策

（都市開発部・都市建設部・市民生活部）

- 81 ○住民参加による小平駅北口再開発と小平都市計画道路3・4・19号線の建設推進。
- 82 ○小平都市計画道路3・4・10号線の府中街道までの延伸。
- 83 ○富士見通りの青梅街道までの拡幅。
- 84 ○あかしあ通りの電線等の地中化、植栽整備、ベンチの設置等による憩いの小道の創出。

- 85 ○鷹の台駅駅前広場予定地の自転車駐車場等への有効活用。
- 86 ○地下式自転車駐車場の設置による駅前の有効活用。
- 87 ○公共交通を抜本的に見直し、総合的な計画の策定。
- 88 ○狭山境緑道の整備と歩行者・自転車の歩車分離の徹底。
- 89 ○自転車ルールの啓発強化と専用レーン、ナビマーク設置路線の延伸拡充。
- 90 ○自転車の保険加入の促進等を盛り込んだ（仮）小平市自転車安全利用条例の制定。
- 91 ○市内全街路灯のL E D化の推進。
- 92 ○地域別・目的別公園整備計画の策定と事業化。
- 93 ○花いっぱいのみちづくりのためのフラワーバンクの創設。
- 94 ○道の駅など観光拠点施設の設置。
- 95 ○地産地消を推進するための（仮）「小平マルシェ」の設置。
- 96 ○地場農産物の学校給食への供給量拡大のためのコーディネーターの設置。